

## 登壇講師紹介

井上 勝

特別ゲスト

八千代松蔭中学校・高等学校に数学科教諭として奉職。  
2003年度からは情報科を担当。教育情報部主任、教務部長、教頭、副校長、参与を歴任。それぞれの立場で一貫して校務の情報化、教育の情報化、校内ネットワークの構築、インフラ整備に携わる。2015年秋、Google Apps for Educationを導入し、全国初となる大規模校におけるGoogle for Educationの運用を統括。  
現在、八千代松蔭中学校・高等学校 非常勤講師、MICTA代表(ICT関連のコンサルティング)、イーディーエル株式会社 顧問。

唐澤 博

事例発表1

東京女子学園中学校・高等学校 先端学習部 副部長。探究科主任。日本アクティブ・ラーニング学会理事、一般社団法人国際エデュテイメント協会理事、NPO英語運用能力評価協会アドバイザー。  
中高の現場で、ICT活用・アクティブラーニング推進に努め、「デジタル教材勉強会・東京」主催、「英語教育・達人セミナー」等で先生向けワークショップを各地で開催。  
2020年より現職。著書に『英語デジタル教材作成・活用ガイド』(大修館書店)がある。

市田 圭

事例発表2

桜花学園高等学校 ICT Solutions チーフ 英語科。国際キャリアコース探究プロジェクトを担当。Google認定トレーナー、Apple Teacher-Swift Playground-。  
校務支援システムの導入からスタートし、タブレット端末の導入、校内のWi-Fi環境整備、アクティブラーニング・ルームの設置など一貫したICT環境の構築を担当。Google Wprkspace for Educationの各種ツール、iPadを用いた授業計画について継続した校内研修を実施。  
今年度からAdobe Creative Cloudを導入し、広報活動や授業における活用を推進している。

## ESN英語教育総合研究会について

ESN(English Study Network)英語教育総合研究会は、次世代の英語教育ファシリテーター育成を支援するためのポータルサイトです。  
(URL: <https://es-network.org/>)

関東と関西を中心とした全国規模の研究会の実施や、教材や授業実践などの情報交換を通して全国の先生方のネットワークの構築を目的としています。また、英語教育だけでなくIB(国際バカロレア)のコアカリキュラムであるTOK・CAS、JAPANESE Bや21世紀型スキルの情報なども発信しております。

このネットワークを通して、日本の英語教育の未来に新しい風を吹かせていきませんか。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

総合代表 久保 敦



English Study Network  
英語教育総合研究会

## デジタル教材勉強会について

デジタル教材勉強会は、大阪私学の教員をメンバーとして、教育の情報化について実践的な研究を行う勉強会です。“みなさんと気軽にICT活用について勉強しましょう”をスローガンにスタートしました。

各教科での電子黒板、タブレットPC、デジタル教科書といったデジタル教材を活用した実践模擬授業を行ったり、実際のデジタル教材を展示いただいたり、参加者同士での質問会も実施しています。英語教育で特記記事、NEW Education Expo、関西教育ICT展他、多数の会に参加し、福岡、仙台、東京などの地域でも実施しております。

デジタル教材  
勉強会